

令和3年度3学期終業式 式辞

皆さんおはようございます。

令和3年度、最後の式も放送となってしまいました。結局今年度は一度も皆さんの前で話をする事が叶わず、残念な気持ちでいっぱいです。

さて、昨日、3週間後に皆さんの後輩として入学をしてくる36期生の合格発表がありました。体育館のギャラリーに掲示された番号を見て、肩を抱き合って友達と歓声を上げるもの、その一方で肩を落としてしばらく掲示板を見上げるもの。そこには人の明暗を分ける残酷な風景が繰り広げられていました。

皆さんは、1年前、または2年前に同じ場に立ち、感動を味わった人の集まりとなります。今一度その時の想いを振り返り、今日の終業の日を迎えてほしいと思います。

今年度の本校の入試は、競争倍率が1.23倍という高い数字となりました。皆さんの通う日根野高校が地域の中学生やその保護者から高く評価をされている証となります。多くの府立高校が定員割れを起こす中で、本当に誇れることだと思っています。

そしてその評価されるべき内容を作っているのは皆さん自身となります。皆さんや卒業した3年生の進路実績や勉強への取り組み、クラブ活動における様々な実績、また体育祭や文化祭での活発な活動など、皆さん一人ひとりの日根野高校での日々が評価をされています。

そして、実は、皆さんは気が付いていないと思いますが、日根野高校の制服を着て高校周辺を、また地元を歩いている皆さんのふるまいそのものが最も大きな評価対象となります。

伝統は守るものではなく、作るものです。将来、皆さん自身が日根野高校の卒業生であることを誇りに思うことができるよう、皆さんは日根野高校での一日一日を大切にすごしてほしいと思います。

今日から長い春休みに入ります。この貴重な時間を無駄にすることなく、充実した日々としましょう。

2年生は春休みが済めば3年生となります。進路に向けた取り組みを本格化させましょう。「先んずれば人を制す」春休みこそ受験対策をスタートさせる絶好の時です。

1年生は2年生となり、いよいよ学校の、またクラブの中心となります。勉強とともにクラブ活動などに積極的に取り組みましょう。

時間は有限であり、限りあるものです。日根野高校の誇りとともに、皆さん一人ひとりの誇り、プライドをこの貴重な高校生活の中で育ててください。

それでは皆さん、また4月に元気な姿でお会いできることを楽しみにしています。